

「市長と語るまちづくり座談会」意見交換記録(要旨)

開催日時 令和元年7月 23 日(火)
 開催会場 美々津公民館 参加者数 42 名

発言内容	回答者	回答内容
<p>地域でゴミ拾いをして集めたペットボトルなどを自宅に 2 週間分保管しなければならない。高齢化でゴミの分別が大変。分別をもう少し簡単にしてほしい。</p>	市長	<p>日向市の焼却炉は古くなっている。プラスチック製品をたくさん燃やすと、溶けて炉の周りに付着して燃焼効率が悪くなる。炉と最終処分場の延命化に取り組んでいる。ゴミの分別は、ゴミの減量化ということでお願いしているのでご理解をいただきたい。また、高齢者は、ゴミ出しが大変な方もいると思うので、「まごころ収集」を使ってほしい。</p>
<p>他市では、外国人がゴミを散らかすという話を聞く。日向市も、サーフィンや移住で外国人が増えていくと思うが、そういう問題が発生しないか心配である。</p>	市長	<p>日向市の企業に勤務されている外国人には、各企業において分別の説明をお願いしている。</p>
<p>地区内にフィリピンから来た研修生がいるが、研修先の事業所と話を区に入れてもらい、ゴミの分別を区の住民と協力してやっている。やはり意思疎通が大切である。これからも海外からの研修生が多くなっていくので、自分たちの区は自分たちでやっていくという取り組みをしている。</p>	市長	<p>大事な取り組みなので、どういう形でやっているのか勉強させてもらいたい。</p>
<p>日向サンパーク温泉の駐車場からは、樹木が茂っているので灯台が見えない。木を切ってはいけぬのか。</p>	市長	<p>国定公園の中なので規制がある。勝手に切ることではできないので、どういう状況なのか確認したい。</p> <p>※現地を確認したところ、駐車場からは灯台が見えないが、温泉館展望デッキ及びブーゲンビリアの丘（平成 28 年度に木を伐採してブーゲンビリアを植樹）から大変きれいに見えるので、ぜひそちらからご覧いただきたい。</p>
<p>寺迫地区の簡易水道から、寺迫小学校と寺迫幼稚園に水道を供給している。小学校及び幼稚園の上水道へのつなぎこみについて水道課と協議したが回答があいまいだった。</p>	上下水道局長	<p>先日、簡易水道の組合長と市の水道課、農業畜産課で意見交換を行った。寺迫小と幼稚園だけを上水道につなぎ込むことになると、事業認可の変更が必要になる。また、その後で他の寺迫地区の住民が上水道に変更しようと思っても難しくなるのではないかと。意見交換の中でも、補助事業を活用して今の水道施設（簡水）の改修を行う方法が協議されたが、そうであれば小学校と幼稚園があった方が事業としては採択しやすいのではないかと。</p>
	市長	<p>学校と幼稚園を上水道に入れると、次の段階が難しくなる。子どもたちが生活する場所であるから、健康に害がないように上水道を取り入れた方がいいのではないかと。課題があるようなので検討させていただきたい。</p>
<p>寺迫地区の屋根付運動場が老朽化している。</p>	市長	<p>屋根付き運動場は東郷町時代に作っており、老朽化している。今後については、はっきりした結論は出ていない。課題は公共施設マネジメントであり、公共施設が老朽化していく中で、これからどうするのかを検討している。市民の皆さんには、これからのいろんな話をしたいと思う。</p>

発言内容	回答者	回答内容
先月、クルーズ船が細島港に寄港したが、台風接近を理由に日向市歴史民族資料館などの施設が閉館していて、クルーズ船の乗客が残念がっていた。	市長	台風（熱帯低気圧）の接近に伴い、市としても防災担当の職員が待機していた。ことの重大性にかんがみて、公的施設の閉館を決めたもの。開館するという判断は、当時の状況では厳しかった。
市が策定した「空家等対策計画」の中に、シロアリ対策部門も入れてもらえないか。市が市全体のシロアリ被害を把握する、業者を仲介するなどの役割を担ってほしい。市が間に入ると、信用が高まり頼みやすい。	市長	シロアリについては、「空家等対策計画」には入っていない。業者がどれだけあるかも分からないが、検討させてもらう。
市内の水道管の老朽化が進んでいるのではないかと。新設の計画はどうなっているのか。また、地震が発生した時の復旧にめどは立っているのか。	市長	老朽化した管については順次更新している。年数がかなりかかるので、どの地区もやり続けなければ終わらない。新しいものについては、地震対策も施しながら進めている。地震については、水道の場合、被害規模のシミュレーションが難しく、計画等はできていない。
	上下水道局長	敷設から40年以上経過した老朽管の割合が23%ほど。40～60年間で更新していく計画である。現在設置している管については地震対策をしている。全体で380キロくらいの延長があり、これを全部やるのは難しい。管の更新は、年に7キロくらい進んでいる。
上水道の残留塩素が高く心配との声を聴く。匂いはあるが、体に対する心配はないと思う。	市長	市は、耳川の水を浄化してきれいな水を作っており、濁水や断水をしたことはなく水質も問題ない。
	上下水道局長	残留塩素については、それぞれの地区で水道の末端にある家の居住者に毎日チェックしてもらっている。今のところ、塩素が入っていないなどの話は聞いていない。
別府に住んでいるが、水が土臭い、カビ臭いと感じることがある。活性炭処理の設備があるのか。	上下水道局長	カビの臭いがある時は活性炭を使用する。臭いの感じ方については個人差がある。活性炭を使う設備は備えている。
津波発生時は、10号線まで逃げるのが目標だが、現在指定されている避難所では不足すると思う。そこで、白山（はくざん）公園が市の所有になっているのであれば、もっときれいにしてトイレや水道などを設置してほしい。何かあったらテントなども張れるよう、整備して欲しい。	教育部長	今日、職員が現地を確認しに行ったが、どういう整備ができるかについては検討させていただきたい。
旧道（県道中野原美々津線）に入ると何台も大きなトラックが走って来てぶつかりそうになり怖い。トラックのコースを変更して頂きたい。中学生の通学コースでもあるし、高齢になると判断が遅くなり事故につながる気がする。	市長	トラックのルートについては、市が変更することはできないが警察（道路管理者）には繋ぎたい。 ※道路管理者である日向土木事務所に対して、座談会で出された要望の内容を引き継いだ。

発言内容	回答者	回答内容
消防署南分遣所の新設は、ありがたい。いつ完成して配備されるのか。また消防本部の職員数等を教えていただきたい。幸脇小学校のルートについては囲繞地か。10号線の他に抜けられる道はあるのか。	消防長	分遣所は今年度建設し、供用開始は来年4月1日。消防の職員数は83名。その内、救急救命士は24名。旧幸脇小学校は囲繞地になる。上に細い里道があるが、10号線からのアクセスが安全であれば、別の道路を整備する必要はないと思われる。
新しくなる南分遣所では、消防と救急が同時に出場することができるのか。	消防長	消防と救急が同時に出動するとなると、別に6名の職員が必要になる。現時点では、乗換運用で考えている。全国的に職員数が不足しており、大多数の自治体では乗換運用を行っている。また、国も問題ないとしている(乗換運用の基準あり)。いつになるか不明だが、最終形としては、消防と救急の同時運用を考えている。
2年前の座談会で質問したときに、市から「後で回答を連絡する」と言われたが電話がない。もう少し真剣に取り組んでもらいたい。	市長	大変申し訳ない。座談会でいただいた質問については、後ほど連絡することになっている。担当部長に対応させたい。 ※座談会終了後、担当課が質問者に連絡を取った。後日、質問の内容について説明を行うこととした。

座談会のようす

